

III. 社会情勢の変化等を踏まえた機能整備の調査・検討

III. 社会情勢の変化等を踏まえた機能整備の調査・検討

1 愛知県及び我が国を取り巻く社会情勢及び環境の変化・動向

新型コロナウイルス感染症拡大前から現在に至る、本県及び我が国を取り巻く社会情勢や環境の変化等を整理する。

(1) 社会情勢及び環境の変化

■人口減少・高齢化

愛知県は全国に比して、少子高齢化の進行は緩やかではあるものの、将来的な課題である。特に女性を中心とした人口流出が顕著になっているとともに、生産年齢人口の減少による、経済産業活動の維持が課題となっている。

■都市部への人口集中

愛知県は都市部、農山漁村部の両面を有しているが、人口は都市部に集中し、中山間地域を中心とした過疎化による地域コミュニティの維持が困難となっている。

■持続可能な社会の構築

2015 年に国際連合は持続可能な開発目標(SDGs)を採択し、持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットを掲げた。これまでの人間の活動から生じた様々な課題(貧困・飢餓、気候変動、差別、環境破壊等)を解決するために、将来的な持続可能性を考慮した開発の実施が世界的な課題となっている。

■災害の激甚化

世界規模での気候変動により、自然災害の激甚化、夏季の猛暑等、甚大な被害をもたらしている。

■デジタル化への対応

デジタル化の進展により、誰もが物理的な距離の制約を受けず、様々な情報をデジタルツール等を通じて得られようになった。その一方で、個人情報漏洩、情報操作や世論誘導、プライバシーの侵害等への懸念が深刻化している。

■多様性社会の進展

性別、年齢、国籍にとらわれず、様々な人が平等に生活できる社会環境が求められている。また、思考や趣味の多様化により、日常生活、経済活動におけるウェルビーイングの考え方が浸透している。

(2) 観光・MICE 業界を取り巻く動向

観光・MICE 業界を取り巻く動向について、我が国全体として推進していく取組・事業のうち、愛知県の国際観光都市機能整備に関連するものを抜粋する。

■持続可能な観光地域づくり

- ・地域における受入環境整備促進事業
- ・観光地・観光産業における人材不足対策事業
- ・持続可能な観光推進モデル事業
- ・ICT 等を活用した観光地のインバウンド受入環境整備の高度化
- ・観光地・観光産業における観光 DX 推進事業
- ・世界に誇る観光地を形成するための DMO 体制整備事業
- ・DMO を核とした世界的な観光地経営モデル事業
- ・通訳ガイド制度の充実・強化
- ・健全な民泊サービスの普及

■地方を中心としたインバウンド誘客の戦略的取組

- ・地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業
- ・戦略的な訪日プロモーションの実施
- ・MICE 誘致の促進
- ・空港における FAST TRAVEL の推進
- ・多様な食習慣や文化的慣習を持つ訪日外国人旅行者の受入環境整備に向けたモデル事業
- ・ストーリーで繋ぐ地域のコンテンツの連携促進事業
- ・新たなインバウンド層の誘致のためのコンテンツ強化等
- ・地域観光資源の多言語解説整備支援事業
- ・「食」の力を最大活用したガストロノミーツーリズム推進事業
- ・質の高い消費と投資を呼び込むためのデジタルノマド誘客促進事業
- ・観光コンテンツ事業者の収益性改善モデル構築事業
- ・文化資源を活用したインバウンドのための環境整備
- ・公共交通利用環境の革新

■国内交流拡大

- ・新たな交流市場・観光資源の創出事業
- ・ユニバーサルツーリズムの促進に向けた環境整備

(出典)観光庁「令和7年度 観光庁関係予算決定概要」

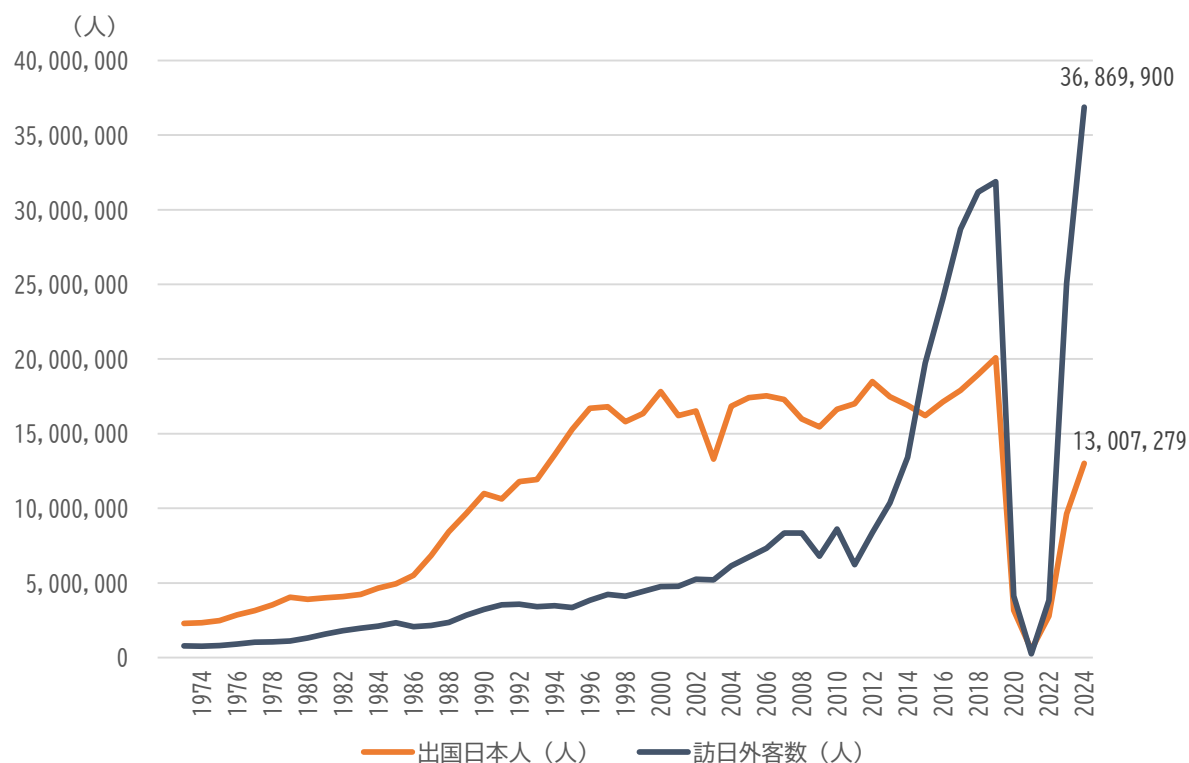
2 国内外の旅行者の動向

統計等を活用し、国内外の旅行者の層やニーズを整理する。

(1) 日本人旅行者・訪日外国人旅行者の動向(全国の動向)

日本人旅行者ならびに訪日外国人旅行者の動向をみると、2014 年以前は出国する日本人の方が多いものの、2010 年以降の訪日外国人旅行者数の急増に伴い、2015 年以降は訪日外国人旅行者数が出国日本人の数を上回るようになった。

図表 出国日本人・訪日外客数



※2024 年の値は速報値。

（出典）出入国在留管理庁統計データをもとに MURC 作成

(2) 日本人旅行者・訪日外国人旅行者の動向(愛知県の動向)

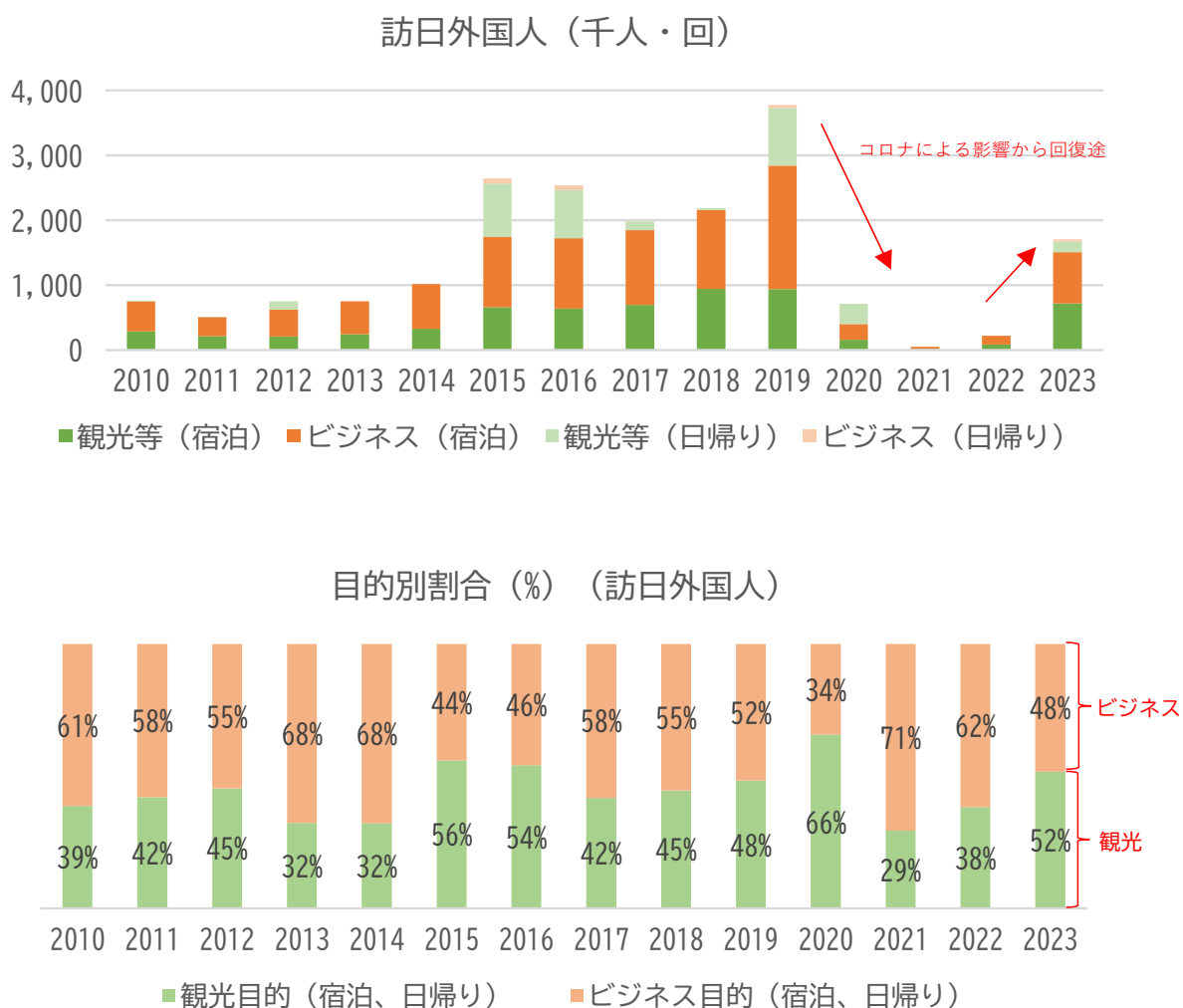
■愛知県に訪れる観光客の動向(訪日外国人)

愛知県に訪れる訪日外国人旅行者は、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に大きく減少した。

新型コロナウイルス感染症拡大前の状況をみると、観光等(日帰り)も多く見られ、宿泊を伴わない観光ニーズが見られる。

目的別でみると、2023 年では観光目的、ビジネス目的とも約5割であり、観光目的の割合がわずかに上回っている。

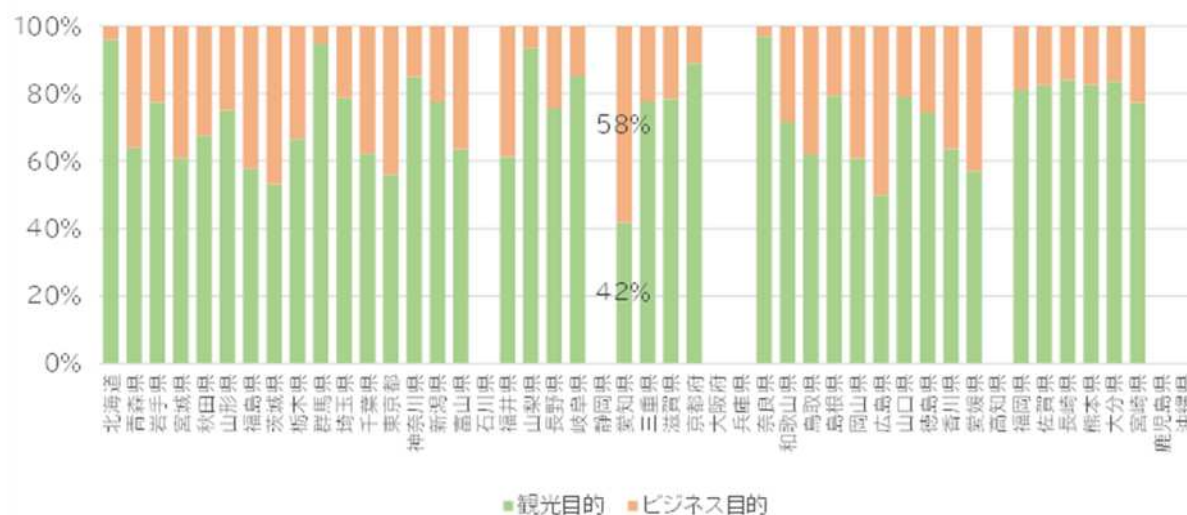
図表 訪日外国人旅行者数・目的別割合



(出典)愛知県「愛知県観光入込客統計」

愛知県は他の都道府県に比べ、訪日外国人旅行者のビジネス目的での来県が特に多く、ビジネス目的が58%、観光目的が42%を示す。

図表 都道府県別 目的別割合(%) 訪日外国人(2017 年)



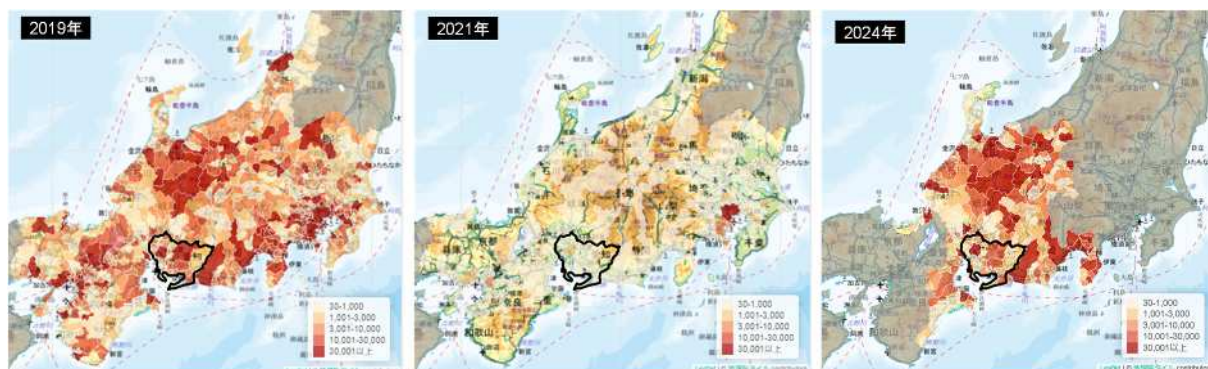
※データの無い県は集計中等の理由により公開されていない。データは 2022 年が最新であるが、公開が 20 都道府県に留まるため、2017 年を採用している

(出典)観光庁「共通基準による観光入込客統計」

訪日外国人旅行者の市区町村別の来訪動向を見ると、新型コロナウイルス感染症拡大前の 2019 年から 2021 年で大きく減少するも、2024 年は 2019 年を上回る結果となった。

2024 年の年間訪日外客数は 36,869,900 人で、2019 年の 31,882,049 人を約 500 万人上回り、年間過去最高を更新した。

図表 訪日外国人別 訪日外国人来訪動向

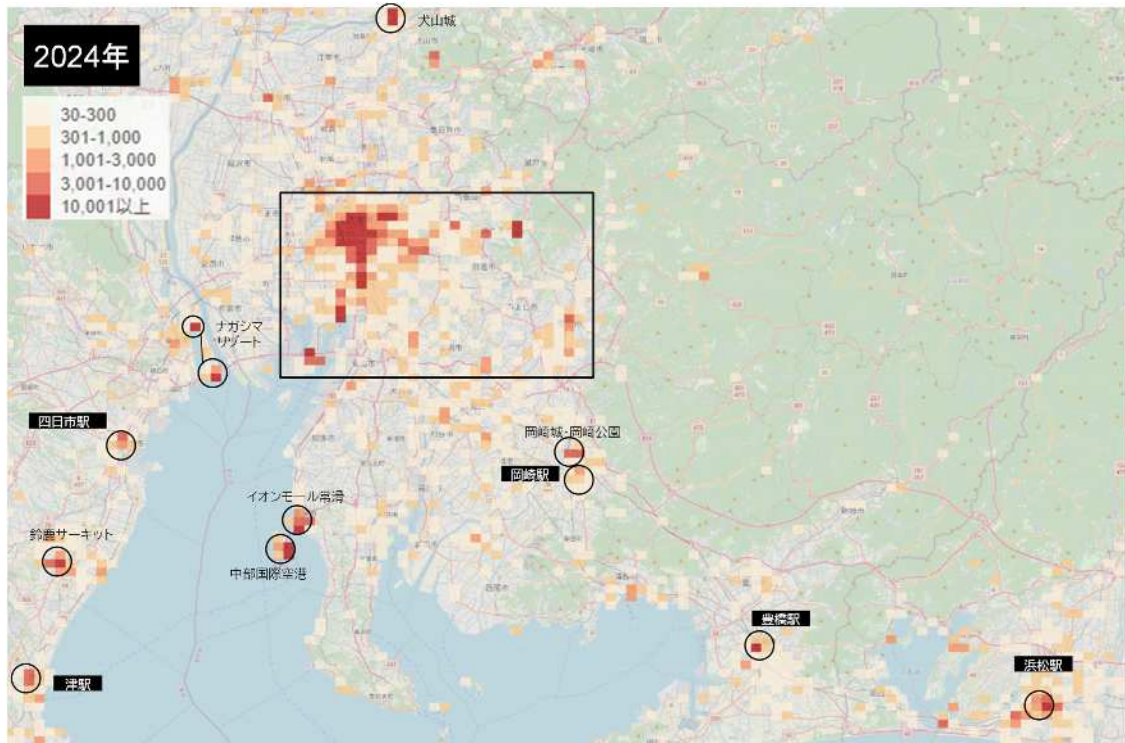


※訪日外国人旅行者のスマートフォンアプリの GPS データをもとに集計。

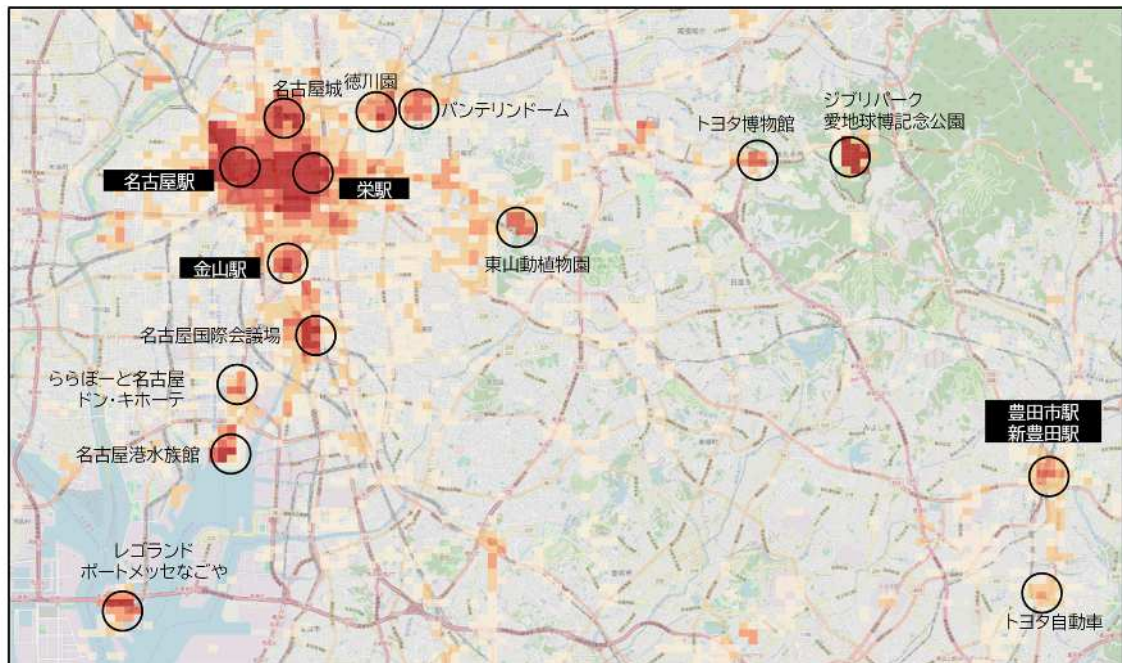
各市区町村への滞在(30 分以上)が認められたものを集計しており、通過者は含まない。
※2024 年は中部9県以外のデータは公開されていない。

(出典)中央日本総合観光機構 分析ダッシュボード 株式会社ナビタイムジャパン「インバウンド GPS データ」

図表 訪日外国人の来訪状況(1km メッシュ)



図表 訪日外国人の来訪状況(250m メッシュ)(名古屋近郊)

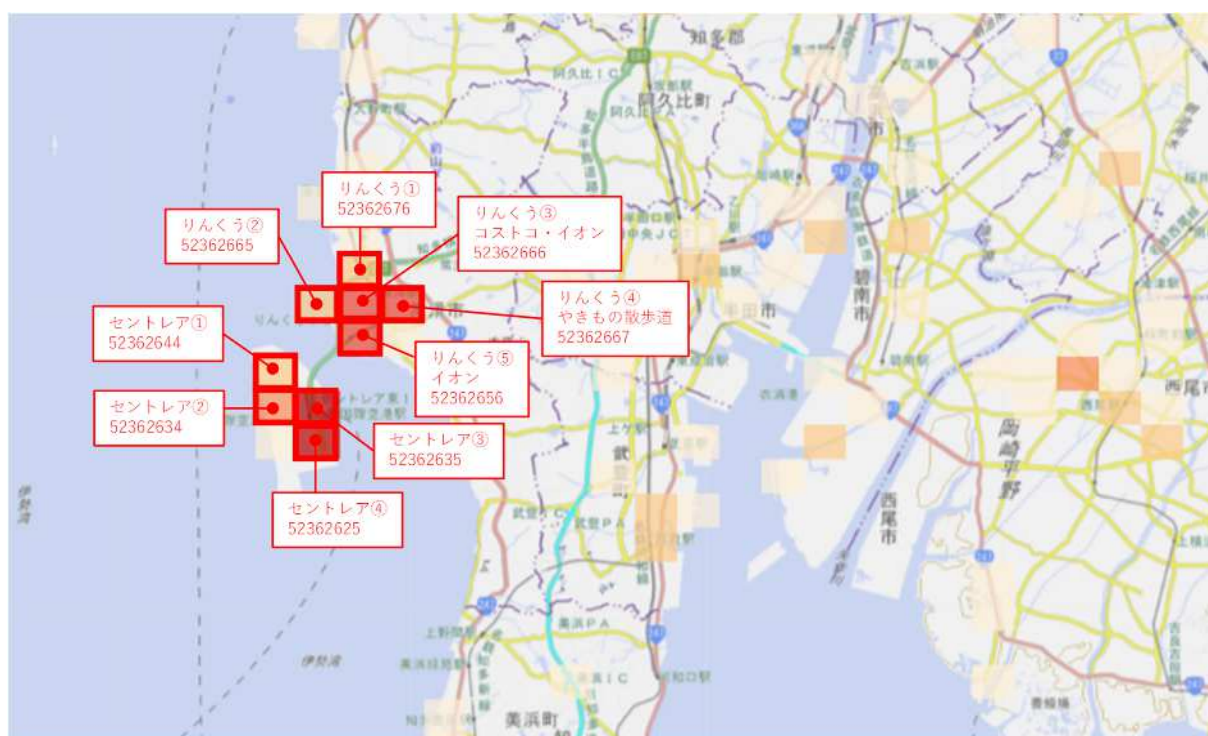
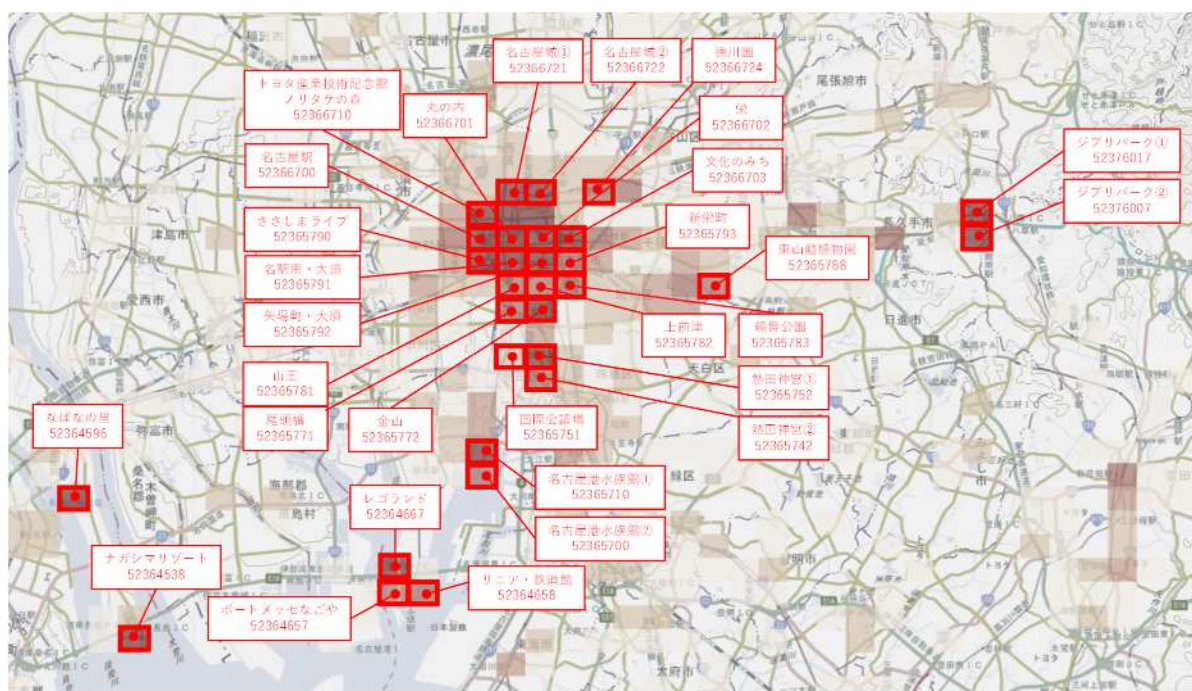


※訪日外国人旅行者のスマートフォンアプリの GPS データをもとに集計。

同一メッシュ内で 30 分以上連続して GPS が取得された旅行者を滞在者として集計しており、通過者は含まない。

(出典)中央日本総合観光機構 分析ダッシュボード 株式会社ナビタイムジャパン「インバウンド GPS データ」

■国・地域別の動向



【2024 年(全日)】

	メッシュ コード	全体	中国	台湾	韓国	香港	タイ	シンガ ポール	マレーシ ア	インドネ シア	フィリ ピン	ベトナム	インド	イギリス	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	ロシア	アメリカ	カナダ	オース トラリア
	52376017	26,188	2,861	4,643	3,096	1,997	270	560	170	250	290	-	-	380	940	540	150	290	130	4,264	680	2,462
	52376017	70,467	4,784	12,327	10,429	3,814	790	1,300	350	820	1,070	500	-	2,034	1,860	1,600	650	1,010	260	12,288	2,477	5,780
	52365788	7,906	-	1,710	2,254	310	80	40	280	-	-	-	60	-	80	-	-	40	-	270	-	280
	52366721	36,896	5,491	7,787	4,064	3,465	840	860	600	360	1,470	420	170	680	1,050	760	360	290	90	3,174	940	1,840
	52366722	20,996	4,209	4,087	1,963	1,610	740	610	280	320	1,160	120	70	170	630	610	140	90	40	1,420	510	520
	52366724	13,511	2,340	1,920	4,115	1,130	150	290	-	80	380	-	-	-	60	460	540	100	-	560	120	360
	52366700	674,078	138,015	97,970	85,327	67,795	21,486	21,744	7,718	10,512	2,763	360	560	600	860	1,030	240	300	100	4,910	880	4,029
	52366701	148,070	32,418	24,052	17,974	17,504	2,699	4,040	1,560	2,573	3,001	540	360	2,925	3,159	2,494	1,090	1,620	9,157	55,755	12,568	28,462
	52366702	355,986	74,598	63,018	74,892	39,517	8,821	7,092	3,649	3,751	12,735	2,210	840	3,153	6,314	5,667	1,830	2,304	560	16,819	4,275	9,537
	52366703	33,711	9,521	5,096	6,550	2,809	660	460	380	340	1,410	380	90	490	290	210	200	170	70	2,254	370	580
	52365790	19,974	6,164	3,126	1,680	2,454	420	690	160	150	550	290	100	450	250	120	140	70	50	1,150	620	430
	52365791	45,695	6,189	8,018	9,021	3,908	1,250	1,300	300	610	1,900	120	230	630	1,090	1,330	470	390	190	4,129	940	1,600
	52365792	218,301	40,580	41,088	38,942	26,387	5,984	5,972	2,048	1,980	6,836	1,310	690	1,957	3,535	3,771	1,090	1,370	360	15,304	3,122	6,237
	52365793	7,012	1,710	720	1,510	600	230	70	80	100	370	110	-	-	290	200	60	40	-	260	80	210
	52365772	21,546	5,253	4,631	4,073	3,071	850	570	200	560	1,360	360	360	120	400	320	160	100	-	2,673	400	790
	52365751	1,690	640	220	360	50	-	-	-	90	140	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	52365752	21,751	4,849	6,458	2,553	2,189	540	490	190	350	250	260	-	160	830	400	40	100	-	800	120	240
	52365742	22,279	3,948	7,997	4,693	2,930	270	480	190	-	130	120	-	60	210	290	60	50	-	340	-	-
	52365710	20,584	3,223	5,667	3,688	2,717	730	620	350	230	520	-	200	60	470	270	-	70	80	770	110	50
	52365700	11,052	1,550	2,873	1,520	1,948	420	320	140	120	330	170	80	90	250	80	-	-	-	500	-	170
	52364687	37,163	11,751	8,906	1,760	4,377	620	970	130	560	1,360	190	100	260	80	130	-	-	-	430	380	3,341
	52364657	5,027	640	1,010	880	760	90	80	-	70	110	-	-	110	50	-	-	-	-	520	130	250
	52364658	3,398	-	660	230	490	80	300	-	-	78	-	-	90	260	-	-	-	-	150	130	310
	52364596	18,862	-	3,784	1,330	2,909	2,076	1,290	220	640	2,083	320	230	130	120	50	-	-	50	1,320	220	1,180
	52364538	29,629	4,438	6,333	2,698	8,141	730	1,300	450	230	1,740	-	110	230	100	60	-	-	60	670	230	970
	52365781	4,661	640	200	1,200	90	60	120	50	50	220	-	110	170	130	480	-	80	-	50	110	540
	52365782	10,052	1,290	2,272	1,530	820	300	340	160	40	390	120	-	180	260	310	210	90	-	770	-	180
	52365783	9,499	1,230	810	310	2,029	160	510	40	80	370	-	90	150	310	270	160	250	-	810	170	130
	52365771	8,326	2,065	1,060	1,230	1,040	300	260	70	160	230	110	-	-	120	310	80	-	-	710	-	130
	52362676	1,380	490	230	310	110	-	-	-	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	60	-	-
	52362665	790	590	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	-	-
	52362666	5,573	490	1,320	1,080	1,300	220	150	170	-	100	-	-	-	120	-	-	-	-	140	-	180
	52362667	5,702	2,749	667	610	740	40	160	-	-	-	-	-	-	90	-	70	-	-	-	60	180
	52362656	11,806	1,800	4,223	710	2,983	800	510	70	-	60	180	-	-	-	-	-	-	-	-	70	110
	52362644	370	-	220	-	120	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	52362634	2,790	980	1,540	-	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	52362635	100,355	22,818	28,980	18,881	9,547	4,149	2,959	1,170	720	3,007	1,060	310	290	470	240	-	40	-	2,747	360	1,010
	52362625	83,032	29,465	13,125	18,918	11,874	930	950	210	90	5,390	290	-	70	230	60	-	-	-	400	110	360

(出典)中央日本総合観光機構 分析ダッシュボード

株式会社ナビタイムジャパン「インバウンド GPS データ」

【2024 年(深夜(23:00~05:59))】

	メッシュ コード	全体	中国	台湾	韓国	香港	タイ	シンガ ポール	マレー シア	インド ネシア	フィリ ピン	ベトナ ム	インド	イギリ ス	ドイツ	フラン ス	イタリ ア	スベリ ン	ロシア	アメリ カ	カナダ	イ ン テ ル ナ ー ショナル
ジブリパーク①	52376017	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジブリパーク②	52376007	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山動物園	52365788	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名古屋城①	52366721	1,150	-	-	200	-	-	60	-	40	70	-	-	-	50	170	-	-	140	-	-	130
名古屋城②	52366722	130	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳川園	52366774	210	-	90	-	-	-	-	-	-	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名古屋産業技術記念館・ノリタケの森	52366710	9,348	2,080	1,300	1,280	680	240	250	100	210	210	120	90	-	110	120	320	-	940	260	410	-
名古屋駅	52366700	276,670	63,487	49,669	33,941	34,481	10,765	11,075	3,139	3,367	7,009	2,403	1,120	3,403	4,285	3,391	1,510	2,245	600	15,401	4,026	8,094
外のみ	52366701	91,019	18,643	15,680	10,488	11,571	1,600	2,371	820	1,550	1,750	-	320	1,994	2,024	1,490	510	1,120	360	6,595	1,800	3,483
栄	52366702	167,108	36,889	28,380	37,060	18,846	3,046	2,648	1,500	1,350	5,846	1,720	280	1,620	2,698	2,747	780	980	350	6,916	1,880	4,425
文化のまち	52366703	20,197	5,463	3,568	3,544	2,039	500	250	250	210	830	380	90	220	70	100	100	150	50	1,050	230	4,425
ささしまライブ	52365790	9,674	3,191	1,410	-	1,640	240	410	-	130	280	180	-	330	100	60	40	-	50	330	350	370
名駅南・大須	52365791	23,831	4,208	4,016	4,451	1,800	490	460	130	330	1,160	-	110	180	490	720	70	250	50	2,225	640	1,060
天橋町・大須	52365792	28,976	5,329	6,039	5,978	3,380	540	510	80	170	1,060	-	100	120	310	680	90	170	-	1,750	190	580
新栄町	52365793	2,498	500	380	730	110	60	-	40	-	160	-	-	-	80	-	80	-	-	80	50	-
金山	52365772	11,899	2,605	1,890	1,380	1,020	320	210	110	70	510	240	130	-	150	250	80	-	1,750	160	470	-
国際会議場	52365751	80	-	-	-	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熱田神宮①	52365752	560	450	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熱田神宮②	52365742	1,550	-	-	1,460	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-
名古屋港水族館①	52365710	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名古屋港水族館②	52365700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レゴランド	52364667	3,181	-	530	-	670	80	230	50	70	-	-	-	160	-	-	-	-	80	-	-	900
ポートメッセなごや	52364657	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リニア・鉄道館	52364658	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
なごの国	52364656	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オアシマリゾート	52364638	1,510	590	220	-	400	80	-	-	-	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60
山王	52365781	2,571	640	80	360	50	40	-	-	-	180	-	70	-	60	90	350	50	-	160	110	190
上野池	52365782	2,185	-	440	330	240	70	90	50	-	100	-	-	-	130	90	210	-	-	-	-	60
藤岡公園	52365783	120	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿野橋	52365771	5,389	-	740	310	930	100	110	-	140	70	110	-	-	70	200	-	-	-	660	-	100
りんくう①	52366676	1,260	490	230	310	50	-	-	-	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	60	-	-
りんくう②	52366665	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
りんくう③	52366666	2,681	490	300	770	460	60	-	130	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140	-	60
りんくう④	52366667	730	590	-	-	50	220	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
りんくう⑤	52366668	1,700	590	100	330	250	-	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
りんくう⑥	52366669	190	-	120	-	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セントレア①	52366644	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セントレア②	52366634	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セントレア③	52366635	13,233	3,842	3,509	620	690	1,350	670	290	180	440	250	60	-	70	100	90	-	390	110	230	-
セントレア④	52366625	1,840	640	350	-	625	80	60	-	-	130	120	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

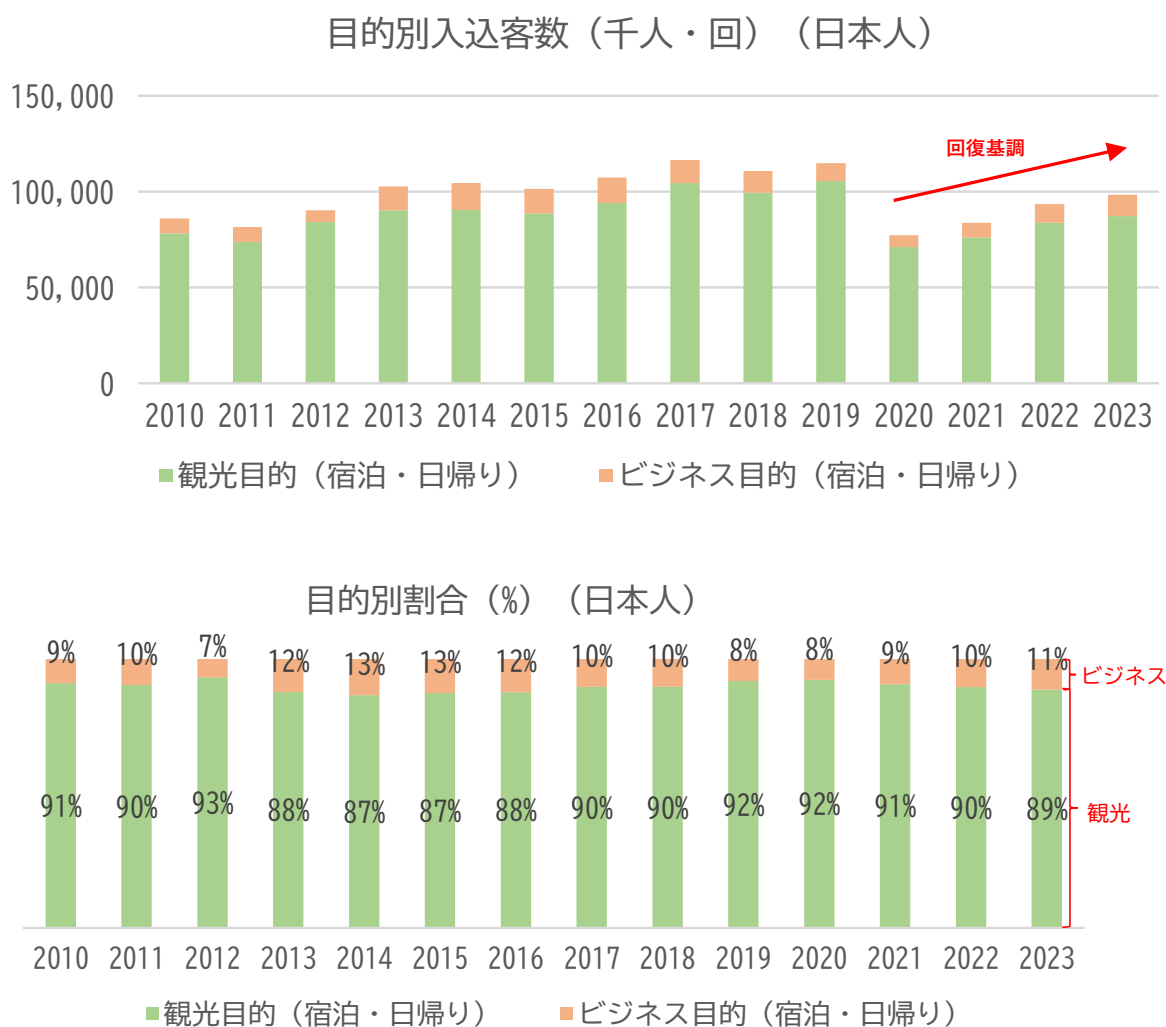
(出典)中央日本総合観光機構 分析ダッシュボード

株式会社ナビタイムジャパン「インバウンド GPS データ」をもとに MURC 作成

■愛知県に訪れる観光客の動向(日本人)

新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、徐々に回復基調にあり、2023 年の愛知県の入込客数は約 9,842 万人であった。目的別では、観光目的が 89%、ビジネス目的が 11%を占めた。

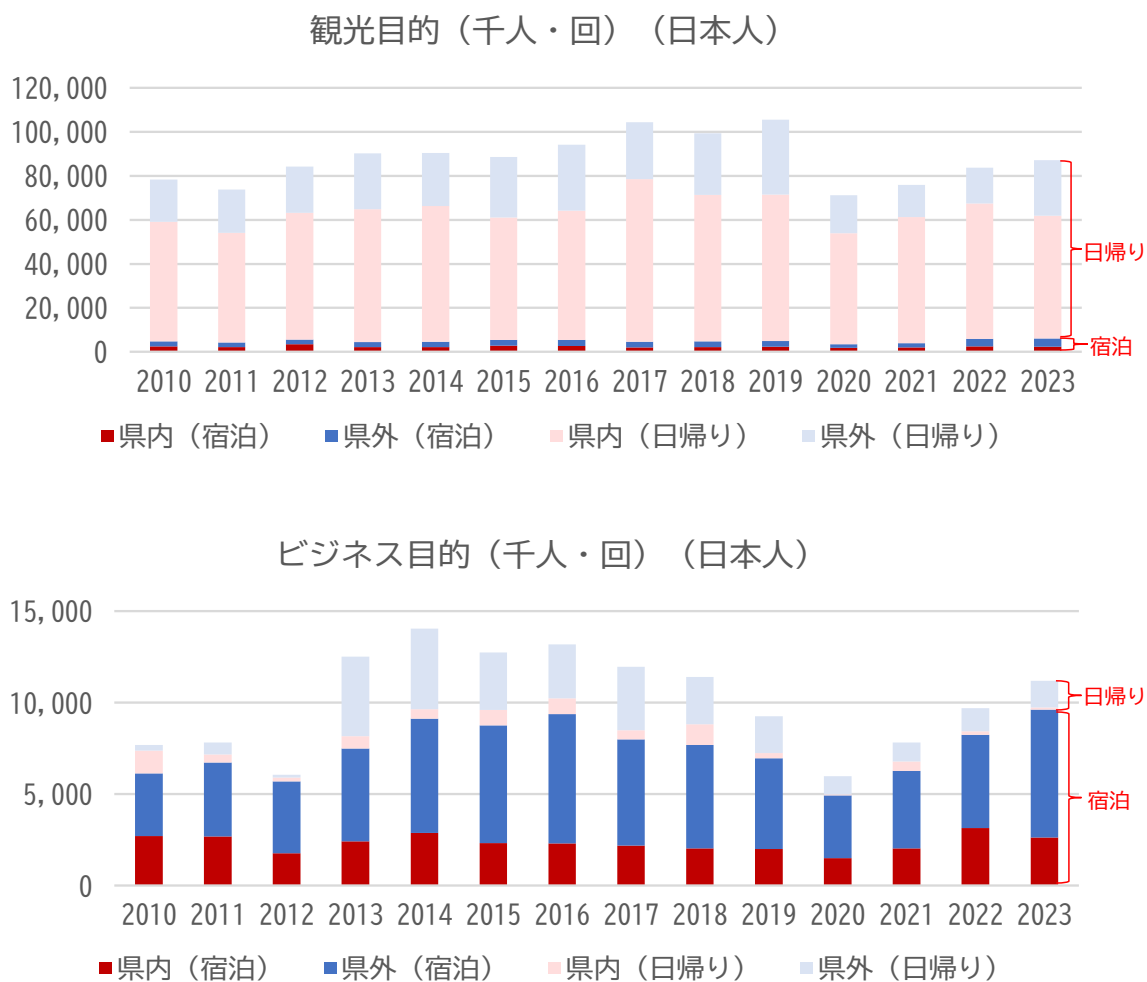
図表 愛知県来訪者の目的別入込客数・割合



（出典）愛知県「愛知県観光入込客統計」

観光目的では、多くを「日帰り」が占めるが、ビジネス目的では「宿泊」の方が「日帰り」を上回っている。

図表 愛知県来訪者の目的別入込客数

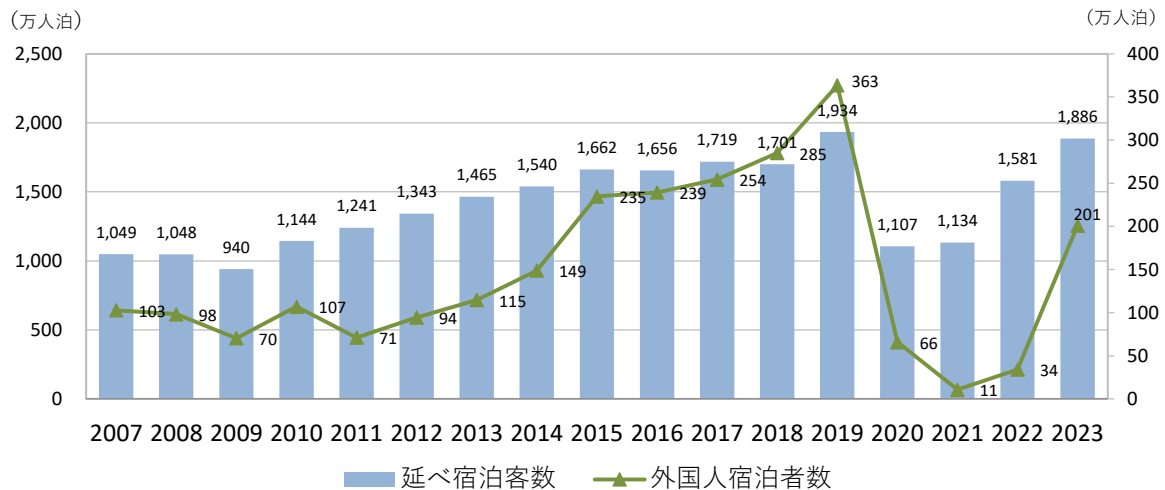


（出典）愛知県「愛知県観光入込客統計」

■愛知県の宿泊客数

愛知県の日本人宿泊者と外国人宿泊者を合わせた2023年の延べ宿泊者数は、2023年で1,886万人泊、外国人宿泊者数は、2011年以降、新型コロナウイルス感染症拡大前、2019年まで増加し、363万人泊を示した。

図表 愛知県の宿泊者数

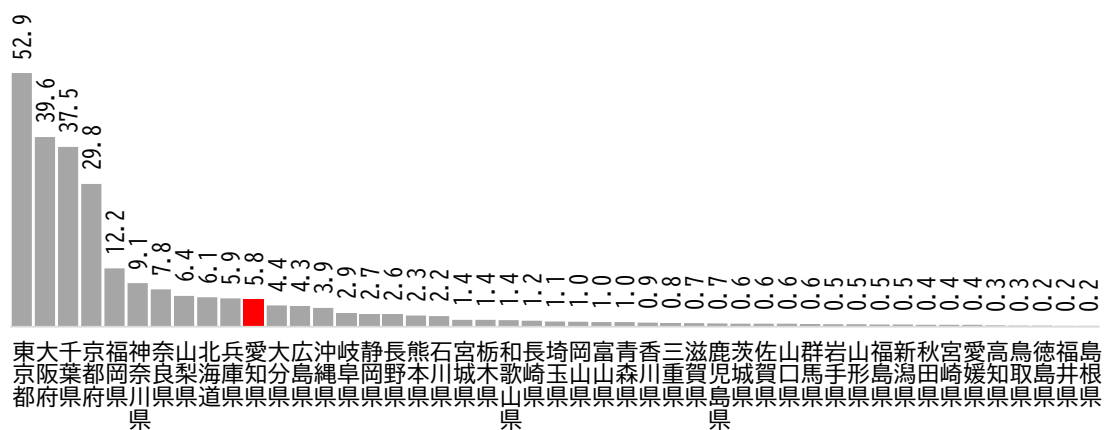


(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査」

■訪日外国人の状況(訪問率・訪問目的)

訪日外国人の訪問率を都道府県別にみると、愛知県 11 位(5.8%)であり、新型コロナウイルス感染症拡大前の6位(9.0%)よりも低い値を示している。

図表 訪日外国人の都道府県別訪問率



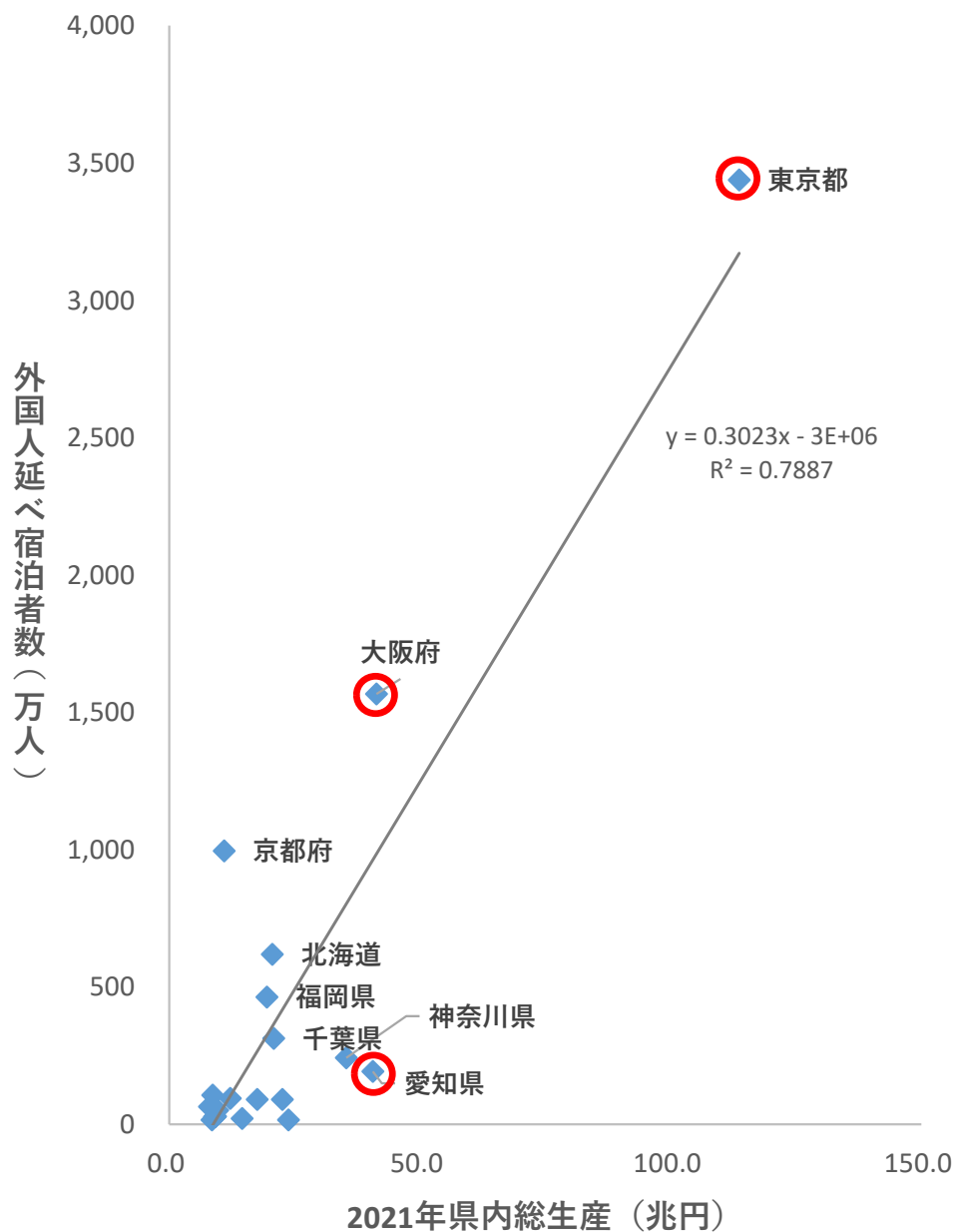
(単位: %)

(出典)観光庁「訪日外国人消費動向調査」(2023 年)

■訪日外国人の状況(経済ポテンシャルと宿泊客数の関係性)

愛知県の外国人延べ宿泊者数については、経済規模に比べて低く、中部地方のインバウンド消費額(1人当たり)についても、全国、関東、関西に比べて低い状況となっており、当地域の魅力を一層高めていくことが急務となっている。

図表 外国人延べ宿泊者数と県民経済計算との関係性

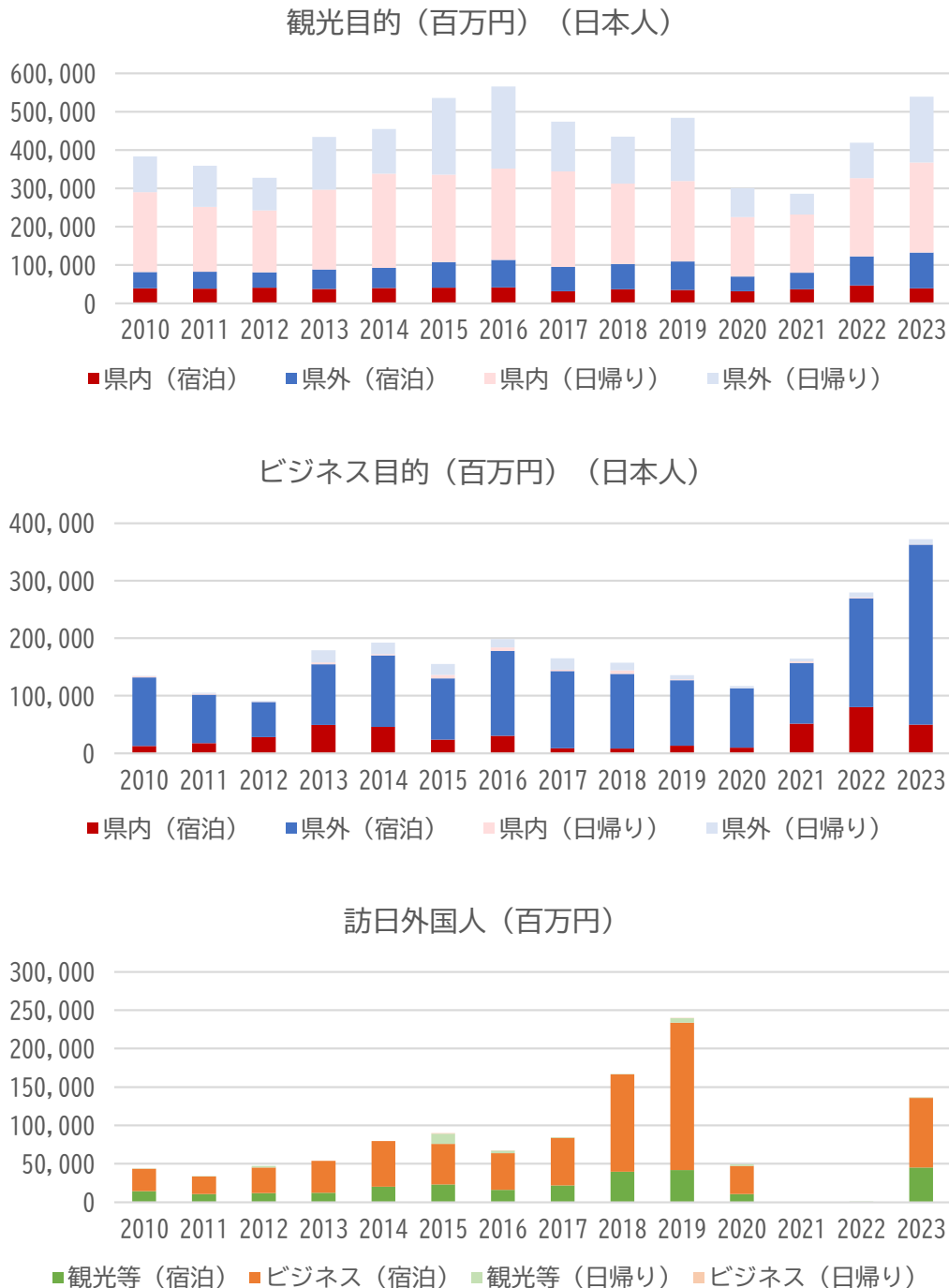


(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査」(2023 年)、
内閣府「県民経済計算」(令和3年度)(平成 27 年基準計数)

■来訪者の観光消費額

2023 年の愛知県来訪者の観光消費額は、観光目的(日本人)、ビジネス目的(日本人)ともに前年度及び新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を上回ったほか、外国人についても順調に回復しており、合計額では 1 兆円を突破した。

図表 愛知県来訪者の観光消費額



(出典)愛知県「愛知県観光入込客統計」

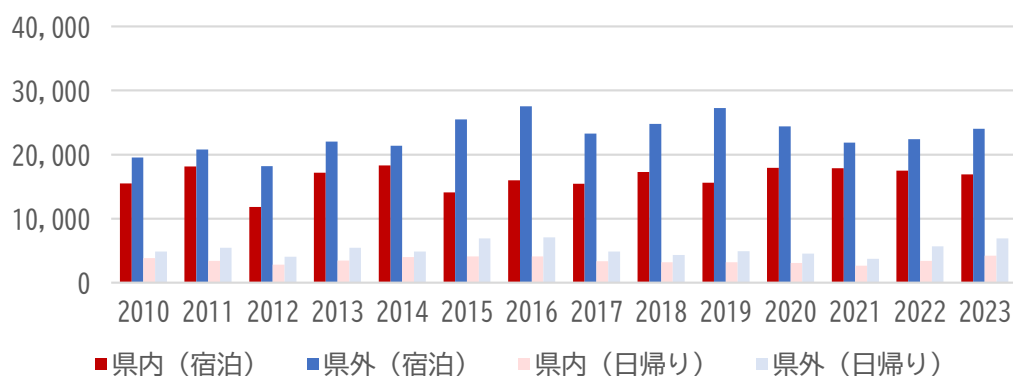
■来訪者の消費単価

日本人においては、愛知県に観光目的で訪れるよりも、ビジネス目的で訪れた場合の方が、消費単価が高い。

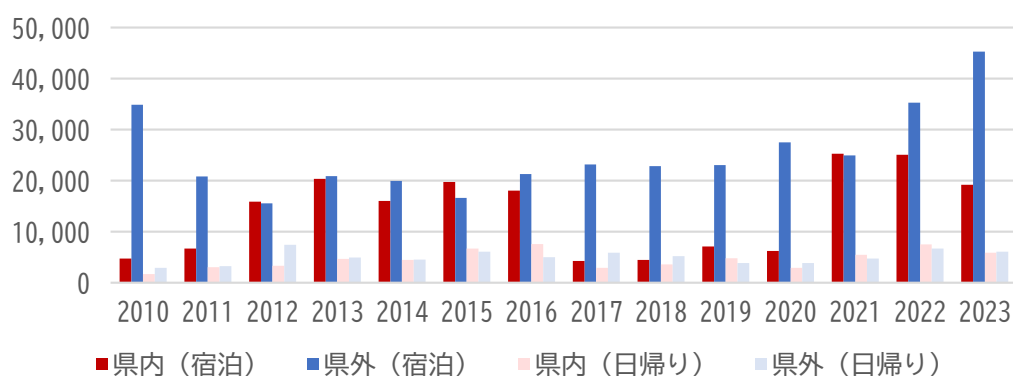
外国人は、日本人に比べ消費単価が高いほか、ビジネス（宿泊）の消費単価がとりわけ高い傾向にある。

図表 愛知県来訪者の観光消費額単価

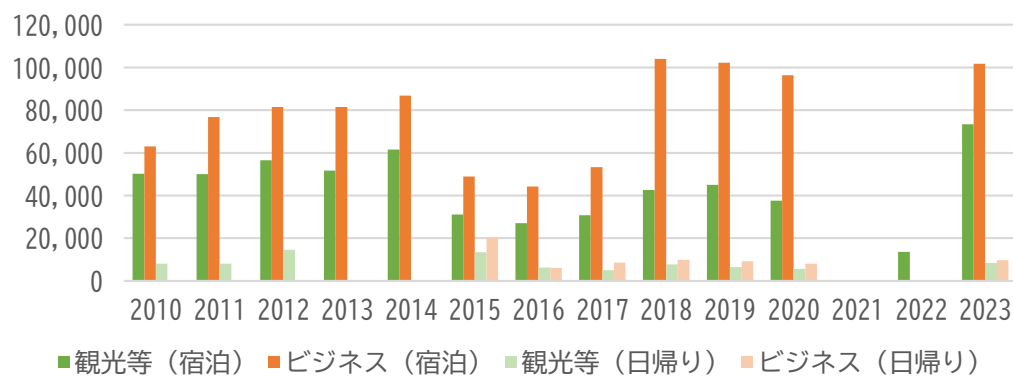
観光目的（円／人・回）（日本人）



ビジネス目的（円／人・回）（日本人）



訪日外国人（円／人・回）



（出典）愛知県「愛知県観光入込客統計」

3 愛知県で対応すべき事項の整理

(1) 現状および顕在化している課題等

前述の整理をふまえ、愛知県が今後も引き続き世界から注目され、人の往来が活発化していくために、念頭に置くべき「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」は以下のように整理される。

■強み

- ・自動車産業の世界的な拠点(製造品出荷額が全国一)
- ・航空宇宙・ロボットなど次世代成長分野の産業集積
- ・マザー工場や大学、研究機関など高度な研究開発機能の集積
- ・多額の貿易黒字を稼ぎ出す輸出競争力
- ・外国人労働者を多く受け入れてきた実績
- ・安価でゆとりある居住環境や職住近接が可能な通勤環境
- ・モノづくり産業が有するグローバルな生産ネットワーク
- ・日本の真ん中に位置し、全国各地からアクセスしやすい地理的優位性
- ・我が国で唯一無二のジブリパーク
- ・戦国武将や山車、独特の食文化(なごやめし、発酵食)など地域独自の文化の存在

■弱み

- ・強いモノづくり大企業に依存した産業構造
- ・第4次産業革命を支える情報通信産業の弱さやその担い手不足
- ・製造業に比べてサービス業の集積や生産性が低い
- ・ベンチャーやスピンオフが生まれにくいとされる土地柄
- ・若年層、特に女性の東京圏への流出
- ・地域の知名度の低さ、地域魅力の発信力の弱さ

■機会

- ・中部国際空港の代替滑走路整備による完全 24 時間化の実現
- ・アジア大会、アジアパラ大会の開催
- ・国際展示場やジブリパーク、アジア競技大会など大規模プロジェクトの進展
- ・リニア中央新幹線開業による首都圏・関西圏に及ぶスーパーメガリージョンの形成
- ・全国的な訪日外国人旅行者の増加

■脅威

- ・人手不足の深刻化、大幅に増加する高齢者数
- ・甚大な自然災害発生への懸念(南海トラフ地震、風水害など)
- ・国際社会の動向に影響されやすい産業構造
- ・リニア開業予定の遅れ

(2) 対応すべき事項

上記の整理をふまえ、今後も引き続き愛知県に観光・ビジネスでの誘客を活発化させ、愛知県内外の周遊を促進するために対応すべき事項は以下のように整理される。

- ・愛知県の強みを最大限活用するだけでなく、良好な国内アクセスと様々な機会を活かし、愛知県内に限らず、周辺観光地、全国各地の観光地も愛知県の観光資源として捉え、誘客の施策を検討していく。
- ・中部国際空港が有するポテンシャル(代替滑走路による完全 24 時間化、国内線ネットワーク、ビジネスジェット・ヘリコプターの発着拠点等)を最大限に活用し、人の往来を活発化に寄与していく。
- ・空港機能の活用に限らず、中部国際空港からの交通機関の多重化、多モード化を図り、周辺地域へのアクセス性を高め、様々なニーズに対応していく。

4 国内外の旅行者の誘客、周遊観光促進のための機能整備及び方策

国内外の旅行者を中部国際空港やその周辺エリアへ呼び込むとともに、当該エリアを起点とした周遊観光を促進し、その効果を広く県内に波及させていくために必要な機能整備や方策について、以下の要点に着目して調査・検討を行った。

■遠隔地との連携

- ・中部国際空港を発着する国内便ならびに県内外への交通アクセスを活用し、当該地域から多方面への観光周遊の可能性について検討する。

■空港機能の活用

- ・当該地域は国内ネットワークを有する中部国際空港に隣接しており、この強みを最大限活用するため、定期便だけでなく、ビジネスジェット(プライベートジェット)、ヘリコプターも活用した観光周遊の可能性について検討する。

■船を活用した移動の可能性検討

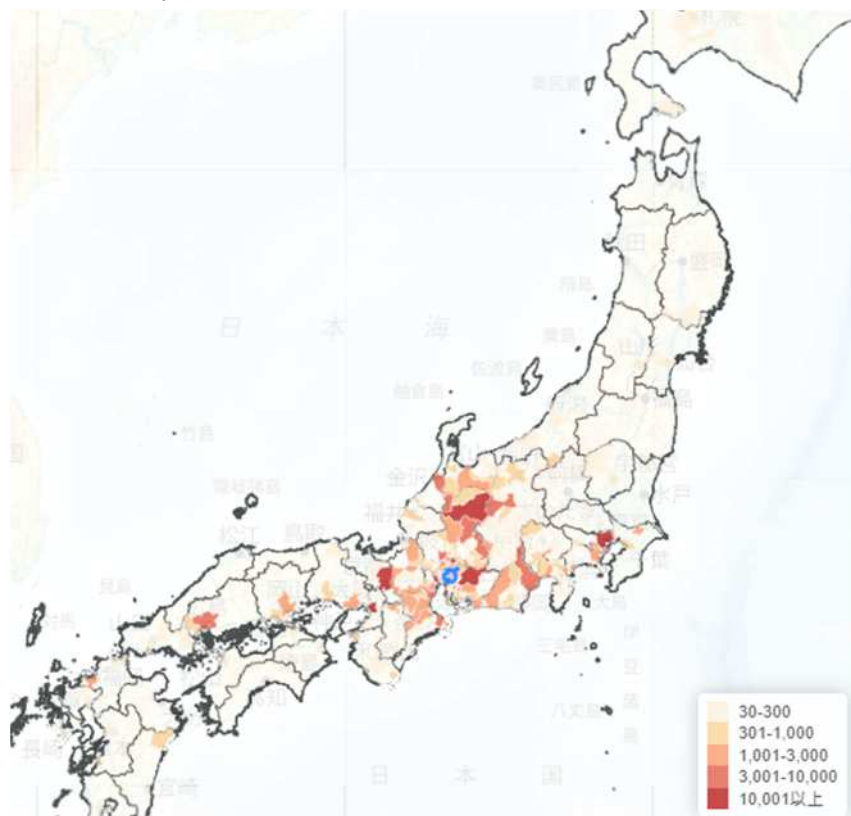
- ・中部国際空港利用者の往来を目的として、津エアポートラインにより、中部国際空港と津なぎさまちがシャトル船で結ばれているが、旅客船が着岸できる港湾としての既存の機能を最大限活用した新たな観光周遊の可能性について検討する。

(1) 遠隔地との連携

外国人旅行者が、愛知県滞在の前後に立ち寄った場所のデータを活用し、国内周遊状況の実態を把握した。

直前・直後の訪問地は県内であれば豊田市、県外であれば岐阜県は高山市、下呂市、中津川市、京都府京都市、東京都区部、大阪府大阪市、広島県広島市、長野県松本市等の立ち寄りが多い。(データ母数を確保するため、分析対象地は「名古屋」としている。)

図表 愛知県を訪問した外国人旅行者の前後立寄先



(出典)中央日本総合観光機構 分析ダッシュボード

株式会社ナビタイムジャパン「インバウンド GPS データ」をもとに MURC 作成

1)遠隔自治体との連携方策の検討

遠隔自治体との連携方策の検討状況について、事例を調査した。

① 事例

■杉原千畝ルート推進協議会

- ・杉原千畝にゆかりのある場所と観光地を結ぶルートを構築する「杉原千畝ルート推進協議会」は、岐阜県八百津町・高山市・中津川市・白川村、福井県敦賀市、石川県金沢市が連携した取組を行っている。(以前は名古屋市も参画)
- ・ホロコーストサバイバーなど、ユダヤと杉原千畝の歴史を踏まえた広域連携の取組が行われている。

■「松本・高山 高付加価値な観光地づくり推進協議会」

- ・地域の高付加価値化に向けた取り組みの一環で始まったプロジェクト。2024 年度からは松本・高山高付加価値化マスタープランをもとに事業が進められている。
参考：<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001735334.pdf>
- ・「ウリ」「ヤド」「ヒト」「コネ」「アシ」の5カテゴリーについて、個別具体的な取組を行っている。
- ・2024 年 12 月、フランス・カンヌで開催された、高付加価値旅行に特化した商談会「ILTM(International Luxury Travel Market)Cannes 2024」に同協議会の枠組みで出展。
- ・高付加価値旅行者受入には施設整備なども重要であるが、その土地ならではの質かつ特別な体験ができるようなソフト施策の充実が必要。
- ・各自治体で活躍するガイドのガイドینگ水準を底上げし、地域の価値・魅力を語り伝える“インタープリター”の育成や、高付加価値層の利用を想定した松本～高山間のシームレスな移動提供を踏まえ、ドライバーの対応力の強化やプライベートジェット・ヘリコプター活用の検討なども検討する。

■その他の地域連携の取組

- ・「昇龍道プロジェクト推進協議会」、「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、一部市町村等が加入)など、複数の自治体が連携した取組を実施している。
- ・高山市、飛騨市、下呂市、白川村、岐阜県から構成され、飛騨地域への誘客を目的とした「飛騨地域観光協議会」は、各自治体に加え、岐阜県も協力金を出して運営に参画している。
- ・「北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会」では、ミシュラン・グリーンガイドで3つ星評価の観光地(松本、飛騨高山、白川郷、五箇山、金沢)のある5自治体が連携し、取組を進めている。欧米豪・東南アジア誘客部会等、ターゲットに合わせた部会も組成している。

■中部国際空港と自治体との連携

レンタカー、バス事業における中部国際空港と自治体の連携(プロモーション、啓発)の可能性が考えられる。

【バス事業】

・名鉄バス・濃飛バスは、昇龍道フリーバスきっぷをはじめとする周遊パスのセールスで中部国際空港と連携が図られている。

【レンタカー事業】

・中部国際空港を利用する外国人旅行者はアジア人が多く、訪日ヘビーリピーターも多い。そのため、地方に行く人や、同じ地方でもさらに周辺に行く人もおり、その際レンタカーが必要になる。中部国際空港のメイン顧客(アジア人)とインバウンドのレンタカー利用者は親和性があることもあり、連携したプロモーションが行われている。

■中部運輸局 レンタカー事業

中部運輸局観光部では 2020 年度に、「中部地域における安全で快適な移動手段の確保に係る実証事業」として、安全で快適な移動手段を確保することを目的に、訪日外国人旅行者のレンタカーによる周遊状況等に関する利用実態調査・分析を行うことにより、二次交通需要の掘り起こしにつなげるとともに、観光地等における受入環境の改善策等の検討を実施した。本事業の一環として、レンタカー利用に当たっての安全対策に関する情報や主要観光スポット・道の駅等の立ち寄り場所のマップやモデルコース等の情報を取りまとめたガイドブック「Central Japan Rent-a-car Drive Guide」が英語、中国語(繁体字)、韓国語、タイ語の4言語で作成された。



(出典)中部運輸局ウェブサイト

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kankou/chiiki/ukeire.html#renta>

② メリット及び課題

■メリット

- ・共通するテーマを有する自治体同士が協働して連携することで、自治体境界にとらわれずに行動する観光客に対するわかりやすいイメージの提供が可能となる。
- ・マーケティングの効率化による観光客の満足度向上の可能性
- ・プロモーションの効率化(コスト減)
- ・課題の共有、課題への対応、強みの相互活用、弱みの補完

■課題

- ・情報共有等の取組に係る予算の確保(合意形成の必要性)
- ・取組推進に係る人的なリソース

③ 今後のあり方・連携の可能性

■広域エリアでの情報発信

- ・広域エリアで案内すべき情報を発信していく。

【情報発信(例)】

- ・四季の旬な情報(桜の開花の情報を地域別に発信、満開の見頃を確認できる仕組み)を発信していく。
- ・自地域以外の観光案内、魅力の発信を広域エリアで実施していく。
- ・オーバーツーリズムの観点からの混雑情報の事前展開(混雑を避けた行動計画を立てられるような情報、案内所における混雑を事前に察知して快適な旅を提案できるように仕立てる)
- ・災害時の交通機関の運休情報・迂回情報(計画運休等の事前の情報も含む)
- ・レンタカーのように発地と目的地が離れた場所にある場合のコンディションの変化、とくにスタッドレスタイヤの必要性を伝えるとともに、日本における交通マナーの啓発等、共通事項は広域で発信していく。
- ・昨今の外国人の日本滞在時のマナーやルールに関する周知をしていく。(ごみ問題、トイレの使い方、観光地を散策する上での立ち入り禁止事項、交通ルール等)
- ・新しい目的地を探しているリピーターを中心に訴求していく。
- ・オンライン商談会等を活用し多様な観光地の魅力を発信し、エリア全体としての魅力を高めていく。

■ヘリコプターの活用

- ・ヘリコプターを活用することで、距離的な隔たりによるアクセスのしにくさを解消し、富裕層の取り込みも見据えていく。(富裕層は、中部国際空港の就航便のある東アジア、東南アジア中心)

2) 観光案内所における遠隔地の連携促進

観光案内所を拠点とした、遠隔地との連携の可能性について事例を調査した。

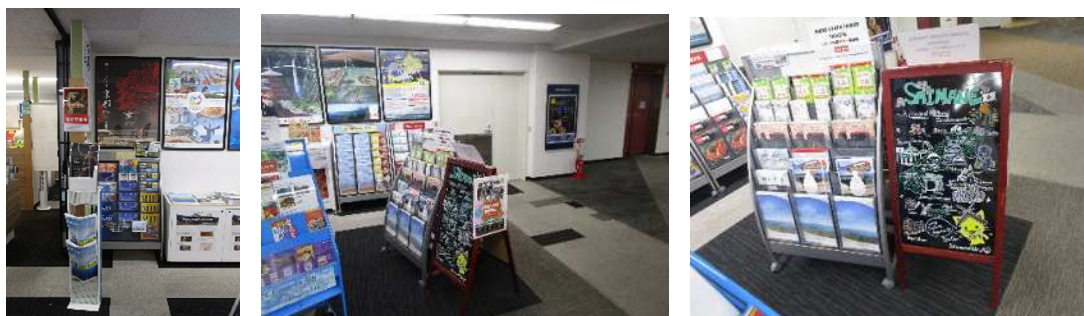
① 事例

■関西ツーリストインフォメーションセンター京都

【取組概要】

- ・遠隔地の情報をポスター掲示、パンフレット配架
- ・プロモーション動画を投影
- ・拠点性を高める取組で、より広域な場所への訪問機会の向上
礼拝室の設置／飲食店の情報提供(提携したハラル対応飲食店の紹介等)／
荷物預かり／手ぶら観光幹旋／チケット販売／両替
- ・タビナカで、思いがけず行きたい場所が見つかるような各地の魅力情報の発信
- ・特別感のある体験の提案

図表 パンフレット配架ラック、ポスター掲示状況



三重県、島根県、鳥取県、瀬戸内等の京都以外の遠隔地のパンフレットを配架

(写真)MURC 撮影

■TIC 東京

【取組概要】

- ・全国の観光地のパンフレットを配架
- ・旬な全国のイベント情報を手づくりの掲示版で情報発信
- ・専用の端末で当該地域の観光情報の詳細を検索可能(京都府)
- ・Skype で遠隔自治体の観光案内所と接続し、情報収集が可能



東京駅と鉄道等で繋がる遠隔地のパンフレットを配架

(写真)MURC 撮影

② メリット及び課題

■メリット

- ・リピーター層への訴求効果が期待できる。
- ・集客力の高い案内所であれば PR 効果が期待できる。
- ・チケットの販売機能を併設することにより、行き先での消費行動を促す効果が期待できる。

■課題

- ・様々な自治体と競合関係になるため、際立った情報、来訪の必然性を感じてもらえる特徴のあるプロモーションが必要。
- ・現状は他地域の情報発信のために当該地域の自治体、観光協会が費用を捻出する必要があり、費用対効果を求められる。

③ 今後のあり方・連携の可能性

■モデルコースの設定

- ・愛知県の魅力、愛知県の産業や文化等の歴史を背景としたストーリーに基づくモデルコースを設定していく。

■ニーズに応じた対応

- ・ご当地食情報の提供、ナイトタイムエコノミーの情報発信など、滞在中の消費を促す情報発信を行う。なお、特に外国人旅行者から求められる食の主義、制限等(ベジタリアン対応、ビーガン対応、ハラール対応等)、地域の消費を促す情報発信を行う。

■BtoB の情報発信

- ・案内する側、旅の提案する側が十分に情報を得られるよう、観光案内所や国内外の旅行会社、通訳案内士、外国語ガイド等への BtoB の情報提供を行う。

■戦略的な情報発信

- ・ノベルティ配布を含んだサンプリング調査によるデータ分析やポスターにおけるアニメキ

キャラクターの利用等、目的となる自治体の情報発信をターゲット別に戦略的に行っていく。

(2) 空港機能の活用

1) 中部国際空港就航先との連携促進方策の検討

中部国際空港エリアで MICE 等の用途で長期滞在する際のブレジャー(※)の移動のために活用出来る中部国際空港の国内線就航先と連携し、相互の誘客促進に向けた効果的な取組の検討を行った。

※ブレジャーとは Business(ビジネス)と Leisure(レジャー)を組み合わせた造語で、出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長する等して、余暇を楽しむこと。

① 事例

図表 中部国際空港 国内線就航先



(出典) 中部国際空港ウェブサイト

■新千歳空港と中部国際空港の取組

●就航先との連携した取組

- ・「大雪おみやげ博」は土産物の物産展を空港催事スペースで行い、北海道の物産を PR し、利用促進につなげるもの。
- ・その他、北海道の観光 PR を中部国際空港の催事スペースで実施する。

●就航先における PR 方法

- ・札幌市内の通行量の多い場所における名古屋の PR

●航空機利用促進

- ・「セントレア空の絵コンテスト」は、直近の航空機の利用促進と将来的な航空利用者の取り込みも見据えて実施している航空機に関する絵のコンテスト。
- ・「FLY&DRIVE」は、航空機とレンタカーを利用する旅行プラン。

② メリット及び課題

■メリット

- ・近隣観光地だけでなく、就航地の観光地の PR により、当該地域の観光資源として組み込む事が可能。
- ・新千歳空港はビジネスジェットでニセコに行く旅行者が多く、ビジネスジェットの受入実績が豊富。現状の主な利用者である富裕層向けの訴求が可能。

■課題

- ・国内線の旅客数は先細りになっており、観光だけでなく航空需要を生み出すような人の往来を増やす取り組みが必要。北海道民のアウトバウンドの航空機利用時期の偏りがあるため平準化が課題。
- ・プロスポーツ、アーティストライブ、展示会・見本市といったビジネストリップが安定的に開催されることで往来の機会を創出することが必要。

③ 今後のあり方・連携の可能性

■セントレア就航先の自治体との観光相互 PR

- ・就航先空港を活用した、新たな旅の提案
- ・MICE 訪問者へのセントレアの利便性 PR と観光リピーターの創出 等

(参考)就航先における催事等を案内することで、滞在期間中の往来を促進することが可能となる。

図表 中部国際空港からの国内線就航都市における主なイベント

都市名	イベント名	時期	客数(人)	年次
札幌	さっぽろ雪まつり	2 月	2,389,000	R6
札幌	YOSAKOI ソーラン祭り	6 月	2,109,000	R6
札幌	さっぽろオータムフェスト	9 月	2,380,000	R5
函館	港まつり花火大会	7 月	40,000	R6
秋田	竿燈まつり	8 月	1,220,000	R6
仙台	七夕まつり	8 月	2,036,000	R6
仙台	SENDAI 光のページェント	12 月	2,000,000	R5
松山	松山港まつり・三津浜花火大会	8 月	300,000	R6

松山	松山春まつり(お城まつり)	4 月	130,000	R6
高知	よさこい祭り	8 月	870,000	R6
松江	松江水郷祭湖上花火大会	8 月	680,000	R6
大分	大分七夕まつり	8 月	400,000	R6
福岡	博多どんたく港まつり	5 月	2,300,000	R6
福岡	博多祇園山笠	7 月	3,000,000	R5
長崎	長崎ランタンフェスティバル	1 月	530,000	R5
熊本	火の国まつり	8 月	360,000	R6
宮崎	まつり宮崎	8 月	800,000	R5
鹿児島	おはら祭	11 月	250,000	R6
那覇	那覇大綱挽まつり	10 月	625,000	R5
沖縄	沖縄全島エイサーまつり	9 月	300,000	R6
石垣	石垣島祭り	11 月	12,500	R5
宮古	産業まつり	11 月	19,192	R5

(出典)各種自治体ウェブサイトをもとに MURC 作成

■インバウンドニーズを高めるセントレア in-out の周遊ルートの造成

・LCC の活用と戦略的な誘致促進

■ビジネスジェット受入促進

・利便性の高いビジネスジェットのターミナル機能を活かした、乗り継ぎ需要の創出

■旅行会社との連携促進

・セントレアならびに就航先の空港を利用する旅行商品の造成

・就航先空港でのレンタカー等の二次交通手配等のワンストップ窓口の展開

2)ヘリコプター移動での誘客方策の検討

中部国際空港は、定期便の他、ビジネスジェット、ヘリコプターの就航にも対応しており、国内の空港の中でも利便性の高い環境を有している。

その強みを最大限活用する方策を検討するため、全国各地からヘリコプターでの誘客・送客促進に係る可能性を検討した。

具体的には、当該エリアからヘリコプターを活用した観光可能性のある観光地における受け入れ状況の把握等の情報収集を行い、取りまとめた。



写真：PhotoAC

① 事例

高所得者や富裕層を中心として、物理的な移動距離のある目的地への往來のために、ヘリコプターが利用されている。

特に、陸路では交通渋滞の激しい場所、陸続きになっていない離島をはじめ、イベント（三重県鈴鹿市：FI 日本グランプリ等）や観光（香川県直島町：直島、北海道ニセコ町）等への往來で利用され、一定のニーズがある。

ヘリコプターを使用したサービスの展開事例を以下に整理する。

■Z-Leg(ゼータ・レグ)

・川崎重工業はリコプターを使った空の移動を手配するワンストップサービス「Z-Leg(ゼータ・レグ)」を展開している。

(出典)https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20230322_1.html

- ・日本のドクターヘリコプターの運航会社 13 社中 11 社と提携。
- ・第三者が運行するものを手配するには旅行業の範囲になるので、川崎重工グループの中にある 100%子会社の川重岐阜サービスという会社が第二種旅行業登録して資格を取得し、取り扱っている。
- ・パソコンで予約可能。2025 年からスマホからも予約することができるようになる。自宅から目的地までの移動を一括で提供できるサービスである。
- ・ヘリコプターの稼働状況を把握し、日本全国いつでもどこでもヘリコプターをチャーターできるようにしている。
- ・全国の場合離着陸場の設定にも注力しており、91 カ所にまで増えた。(2024 年 11 月時点)タクシー事業者等、道路運送事業者と契約をし、自宅からのドア to ドアで目的地までの送迎ができるようになっている。

(参考)就航の条件

- ・現在の法律では、回転翼機は有視界飛行に限定されているため、ヘリコプ

	ターは天候に左右される。雨や霧等悪天候で視界が悪い場合、法律上運行できない。 ・夜間の離着陸は、離着陸地点に夜間照明設備が整っていることが法律で定められている。日常のニーズがないヘリポートは照明設備が無い場合は時間的な制限もある（必要に応じて仮設で照明の設置を行う）。 ・寺院上空、家畜舎の近隣を飛行する場合は影響を考慮する必要がある、飛行ルートを検討する。 ・露天風呂、敷地内にプールを有するホテルについても、上空から覗かれる不快感を与えないような配慮を行う。 （出典）川重岐阜サービス提供情報をもとに MURC 作成
--	--

■PrivateskyCharter

- ・ヘリコプターのシェアオーナーとして、ヘリコプターが利用可能となるサービス。
- ・自宅からヘリポートの移動もハイヤーサービスでサポートしている。ゴルフ、旅行、ビジネス等の幅広い用途に利用が可能。

(出典)PrivateskyCharter ウェブサイト

https://charter.privatesky.co.jp/?gad_source=1&gclid=EAIaIQobChMI-6rTmcnViAMVSNkWBROSCA42EAAAYASAAEgLzh_D_BwE

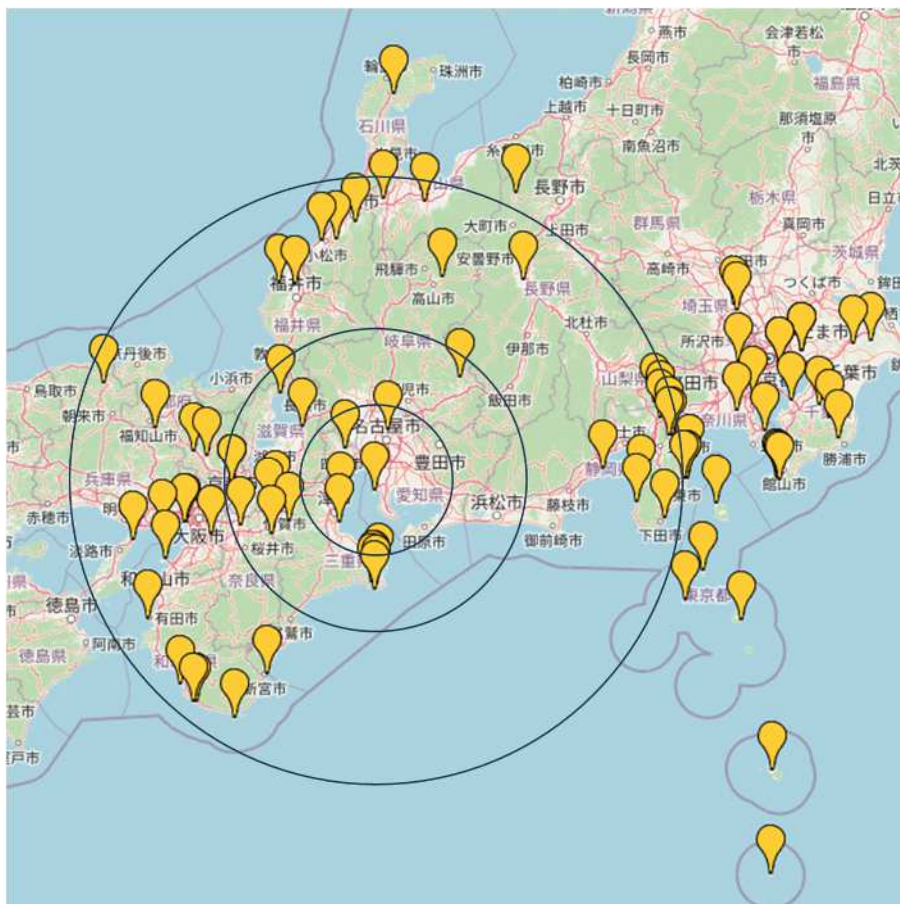
■ヘリシェア

- ・複数のオーナーとヘリコプターをシェアするサービス。
- ・初期費用 10 万円、月額費用 10 万円、利用時には燃料費、着陸費用等が別途必要となる。
- ・最大6名まで利用可能。バゲージスペースにはゴルフバッグ4個が収納可能。

(出典)ヘリシェア ウェブサイト <https://helishare.jp/>

以下図表に示すように、各地にヘリポートが存在している。

図表 中部国際空港周辺のヘリポート整備状況



(出典)AIROS(<https://skyview.airos.jp/access>)、
エコヘリ(<https://www.eco-heli.com/>)をもとに MURC 作成

② メリット及び課題

■メリット

- ・全国各地のヘリポートを活用することで、中部国際空港発着の新たな旅行のスタイルを提案できる。
- ・短時間で目的地に到達できる事に加え、渋滞の影響がなく時間を効率的に活用できる。
- ・移動中の上空からの景色自体がエンターテインメントとなる。
- ・短時間で到達できるため陸路では行きにくい場所を観光地の対象範囲とすることができる。

(ヘリコプターは時速 200km 程度なので、ジェット機・固定翼機・新幹線とは速さでは比較にならない。あくまでもそれらを降りた際の 2 次交通として利用する位置づけ)

■課題

- ・現状は目視飛行に限られ、計器飛行ができないため、悪天候時に運航ができない等、天候に左右されやすい。
- ・大量に人や荷物を運ぶことが不可能であり、移動人数に制約がある。
- ・陸路に比べ、移動費が高額であるため、利用者層が限定的である。
- ・ヘリコプターの機材の確保への工夫が必要である。ヘリコプターの機材がスケジュール上で押さえられていることがあり、機材の提供ができないことがある。年間飛行可能時間の制約も受ける。
- ・機材繰によるラグジュアリー感の確保が困難。物資輸送用、ドクターヘリとして運用されているヘリコプターを利用し、専用のヘリを使用していないため、ラグジュアリー感を確保できない。(専用のヘリコプターを保有している事業者あり)
- ・輸送人員大人数で乗ることができない。

③ 今後のあり方・連携の可能性

■ヘリコプターを使用したサービス導入における今後の取組の展望

・ヘリポートの確保・拡大

自治体との連携においては、防災用途での活用も念頭に置き、給油ができるヘリポートを用意することで、防災の観点からも活用が可能。

・トイレの確保等、周辺の地域・施設との連携を構築

全国各地にヘリポートが増えることにより、行き先の選択肢が広がることから、ヘリポートの整備に向け、各地のヘリポート候補地の施設ならびに自治体との連携を強化する。

■名古屋駅～中部国際空港の移動手段の高度化

・ヘリコプター、空飛ぶクルマによる、名古屋駅からセントレアへの移動の円滑化

ヘリコプター会社ならびにヘリポートとの連携の構築により、利便性の高いヘリコプターサービスの展開を図る。

■「空飛ぶクルマ」による補完

- ・導入に向けた検討が進んでいる空の移動手段の一つとして、ヘリコプター輸送では近すぎる距離の空の移動を補完する。

■外国人客の取込

- ・富裕層を中心としてプライベートジェットが利用されており、プライベートジェットよりも移動距離が短く、かつ滑走路を必要としないため、より多様な目的地にアプローチできるヘリコプターでの移動を訴求していく。

■ヘリコプター輸送に関する想定される課題・問題点

- ・エキスカベーション時の移動等、MICE 訪問者のヘリコプター利用者の移動を念頭に置くと、ヘリコプターでの移動では一度に大勢を運ぶことができないため、機材繰りの工夫が必要となる。

(3) 船を活用した移動の可能性検討

中部国際空港の海を用いたアクセスを活用するため、伊勢湾周辺の港における誘客・送客促進に係る可能性を検討した。

他都市の MICE 施設や空港における海のアクセスの状況を把握し、受入環境整備に係る必要な要件、ニーズ、課題等について調査した。

これに合わせ、現状ルートが開設されている津(なぎさまち)の他、伊良湖等の可能性について整理した。



写真:MURC 撮影

① 事例

■名鉄海上観光船

【事業概要】

・名鉄グループの一部であり、高速船、フェリーの運航を行っている。

・創業: 1926 年

本社所在地: 愛知県知多郡南知多町

事業内容: 高速船、フェリーの運航

現在の運航航路 ※2023 年4月1日改正ダイヤ

◇定期高速船(旅客船)

師崎～篠島～日間賀島～師崎: 毎日 34 便

※12 月～2月の土・日・祝、12 月 29 日～1月3日は 33 便

河和～日間賀島～篠島(～伊良湖): 毎日 10 便(3便が伊良湖まで運航)

(伊良湖～)篠島～日間賀島～河和: 毎日 10 便(3便が伊良湖から運航)

◇カーフェリー

師崎～篠島: 毎日6便(1～2月の2週間程度ドック運休あり)

師崎～日間賀島: 毎日6便(1～2月の2週間程度ドック運休あり)

(出典)名鉄海上観光船時刻表

・師崎港を運航拠点としている。

・観光船としての用途はあるが、基本的には定期航路の島民のアクセスを担っている。季節によって違うが、島民利用が約5割を占めている。夏休み、ゴールデンウィークは特に観光客のウエイトが高くなる。

・カーフェリー1隻(例年1～2月に行うドック期間中は運航休止)

・乗船率は非公表(朝夕と日中、平日・休日で乗船客数は異なる)

・外国人の乗客はごくわずか。

(出典)名鉄海上観光船提供情報をもとに MURC 作成



(出典)名鉄観光海上船時刻表をもとに MURC 作成

■神戸－関空ベイ・シャトル

【事業概要】

航路事業

航路名：神戸－関空ベイ・シャトル

(船舶運航委託会社 加藤汽船株式会社)

航路区間：神戸空港島～関西国際空港

所用時間：約 30 分(関西空港発 12:00 発便と 16:30 発便は約 36 分)

便数：1日 32 便(16 往復)

乗船人員：368,337 人(2019 年度実績)、269,197 人(2023 年度実績)

【顧客の属性、ニーズ】利用者のシェア

アウトバウンド 80%:インバウンド 20%

【外国人の取込みについて】

神戸市への誘客数の増加を目的として、平成 30 年度より、関西国際空港から神戸への最短アクセスとしての認知向上を図るため、500 円で気軽に乗船していただける制度を導入し、外国人旅行客誘客の取り組みを継続している。

(外国人乗船客数)

2018 年度 66,596 人、2019 年度 58,133 人、2023 年度 56,580 人



(出典)神戸-関空ベイ・シャトル提供情報をもとに MURC 作成

② メリット及び課題

■ メリット

- ・陸路を使うと距離・時間を要する場所に短時間で到達出来る。
- ・人気観光地への新たなアクセスとしての可能性を有する。

■ 課題

- ・船の建造費、維持管理費、燃料費等が高騰し、現状維持するのが困難になっている。
- ・天候による運休の可能性や、船体の大きさによっては風の影響を受ける。
- ・船体によっては着岸の要件として栈橋である必要がある。

- ・港湾管理者への許認可、地元漁協等との調整が必要。
- ・受入側の港湾において、係員の配置が必要となる。
- ・鉄道と異なり、定員を超える輸送ができないため、大規模な人数の移動には制限がある。
- ・港からの二次交通の確保。

③ 今後のあり方・連携の可能性

- ・中部国際空港からの訪問先のニーズや周辺地域の観光活性化に向けた新たな航路の検討(伊勢志摩方面、伊良湖方面等)
- ・受入側の港湾の環境整備(栈橋の整備、人員配置、待合スペース等の機能、二次交通の整備)

(4) 総括 ～国内外の旅行者の誘客、周遊観光促進のための機能整備及び方策～

(1)から(3)を踏まえ、中部国際空港を発着する国内便ならびに県内外への交通アクセスを活用した、当該地域から多方面への観光周遊の可能性について、その方策について検討を行った。

■遠隔地との連携

中部国際空港を発着する国内線ならびに県内外への交通アクセスを活用し、当該地域から多方面への観光周遊の実現を図る。

【自治体間の連携促進】

- ・自治体とのテーマ特化型連携(愛知県のものづくり、常滑のやきもの等)
- ・高山・白川郷などの外国人旅行者に人気の高い観光地との情報共有、相互誘客等の連携 等



【観光案内所の連携】

- ・旅行者のニーズに応じたタビナカ情報の提供(旬な情報の提示、食のバリアフリー対応店舗の紹介等)
- ・中部国際空港からの空路、陸路(鉄道、バス、レンタカー)、海路を用いた観光地ごとのアクセス情報の提供
- ・手荷物預かり(配送サービス)やツアーコーディネート機能による旅行者の快適な旅のサポート
- ・近年増加するレンタカー利用者に向けた、レンタカーで訪問可能な観光地の情報に加え、安全運転・利用上の注意、運転マナー等の啓発
- ・アクセスに係るチケットの発行 等



■空港機能の活用

当該地域は、国内ネットワークを有する中部国際空港に隣接しており、この強みを最大限活用するため、定期便だけでなく、ビジネスジェット(プライベートジェット)、ヘリコプターも活用した観光周遊の実現を図る。

- ・国内線定期便就航先での催事等の紹介
- ・ビジネスジェット、ヘリコプターを活用したアクセス時間別の到達可能観光地の紹介、運航会社、手配業者との情報共有



■船を活用した移動の可能性検討

中部国際空港利用者の往来を目的として、津エアポートラインにより、中部国際空港と津なぎさまちがシャトル船で結ばれているが、旅客船が着岸できる港湾としての既存の機能を最大限活用した新たな観光周遊の可能性について検討する。

- ・新たな航路の開発に向けた必要要件の検討(鳥羽港(伊勢志摩)、伊良湖港、師崎港(日間賀島・篠島)
- ・運航先からの二次交通の整備に向けた検討(タクシー事業者、バス事業者との連携)



写真:photoAC